

1.4 工事計画の概要

川辺川ダムは、球磨川との合流点より 19.3km 上流の川辺川に建設されている。

川辺川ダムの建設にあたっては、現況の一般国道 445 号や主要地方道宮原五木線などの一部の区間が水没するため、この区間について道路の付替を行っている。また、ダムの湛水により、五木村の頭地区などの数箇所の集落や一部の農地が水没するため、頭地代替地をはじめとする代替地や代替農地の造成を行っている。

現在、8 箇所の代替地のうち 7 箇所が完成し、頭地代替地についても今年の秋から移転が始まる状況となっている。また、付替国道については約 8 割の進捗状況となっている。

ダム本体の工事としては、ダムサイトの地盤の基礎掘削、コンクリートと岩盤の密着やダムの基礎部の遮水性の確保を目的とした基礎処理を行い、コンクリートを打設する。

コンクリートに使用する骨材などは、原石山や基礎掘削岩などから採取した原石をダムサイト上流の湛水予定区域内に設置する骨材製造設備で破砕して製造する。コンクリートは堤体左岸部に設置するコンクリート製造設備で製造し、ケーブルクレーンにより打設する。

事業計画の概要は図 1.4-1～図 1.4-4 に示すとおりである。なお、湛水などの事業の影響を直接的に受ける区域(ダム本体、湛水予定区域、代替地、原石山、付替道路と工所用道路などの予定地)を、以後、「事業区域」という。

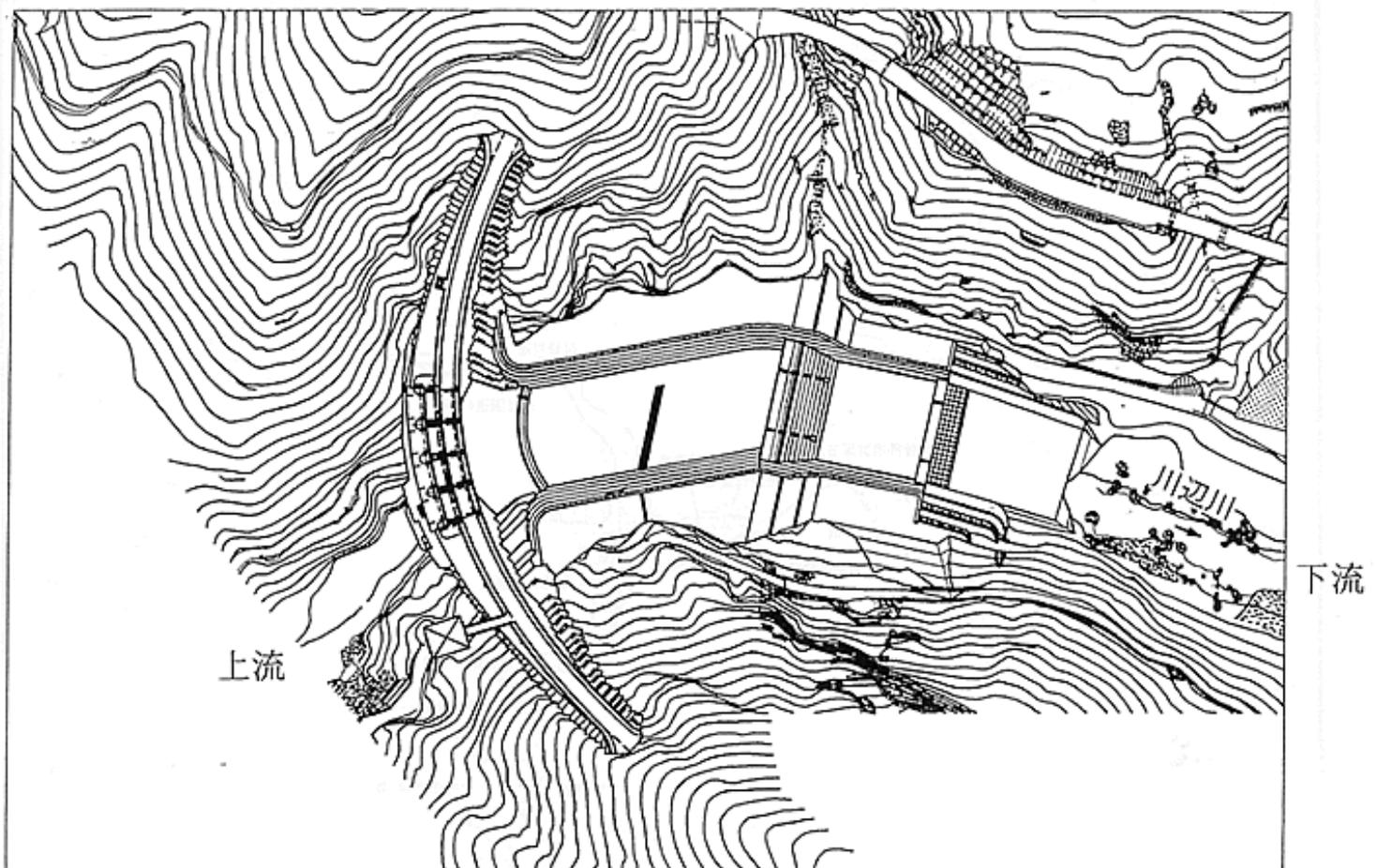


図 1.4-1 ダム堤体平面図

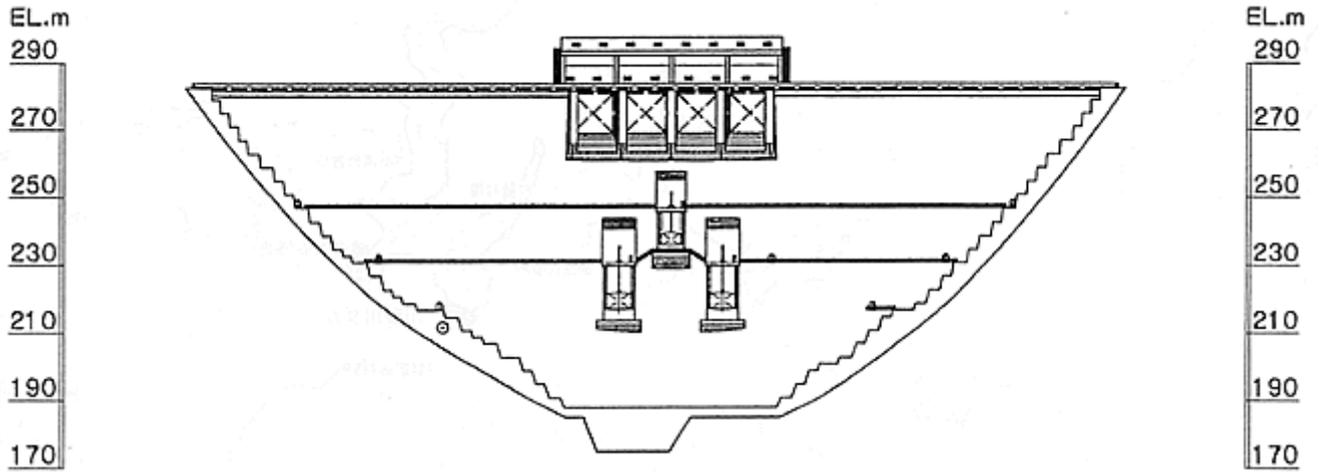


図 1.4-2 ダム堤体下流面図

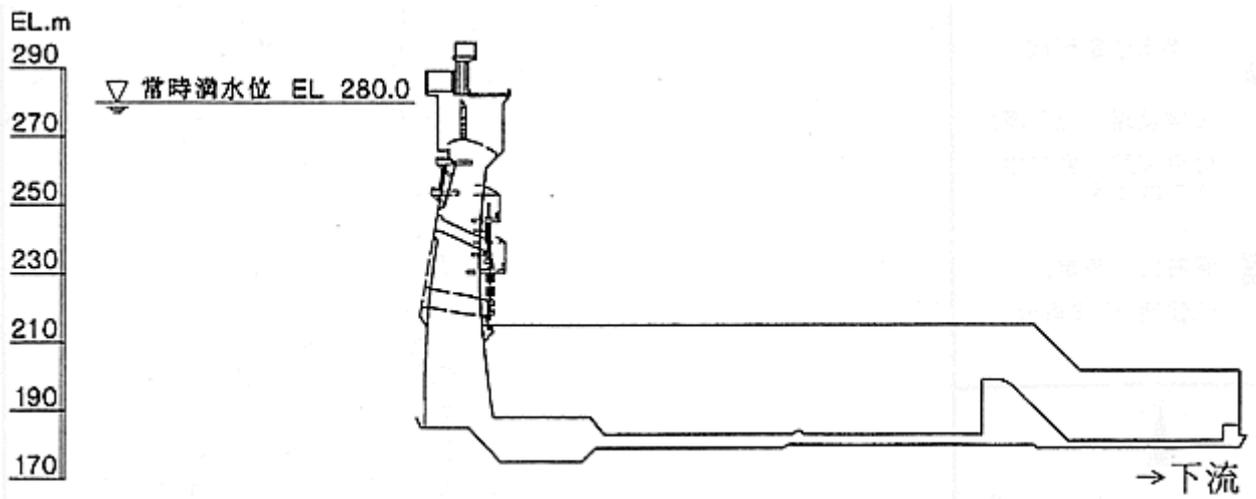
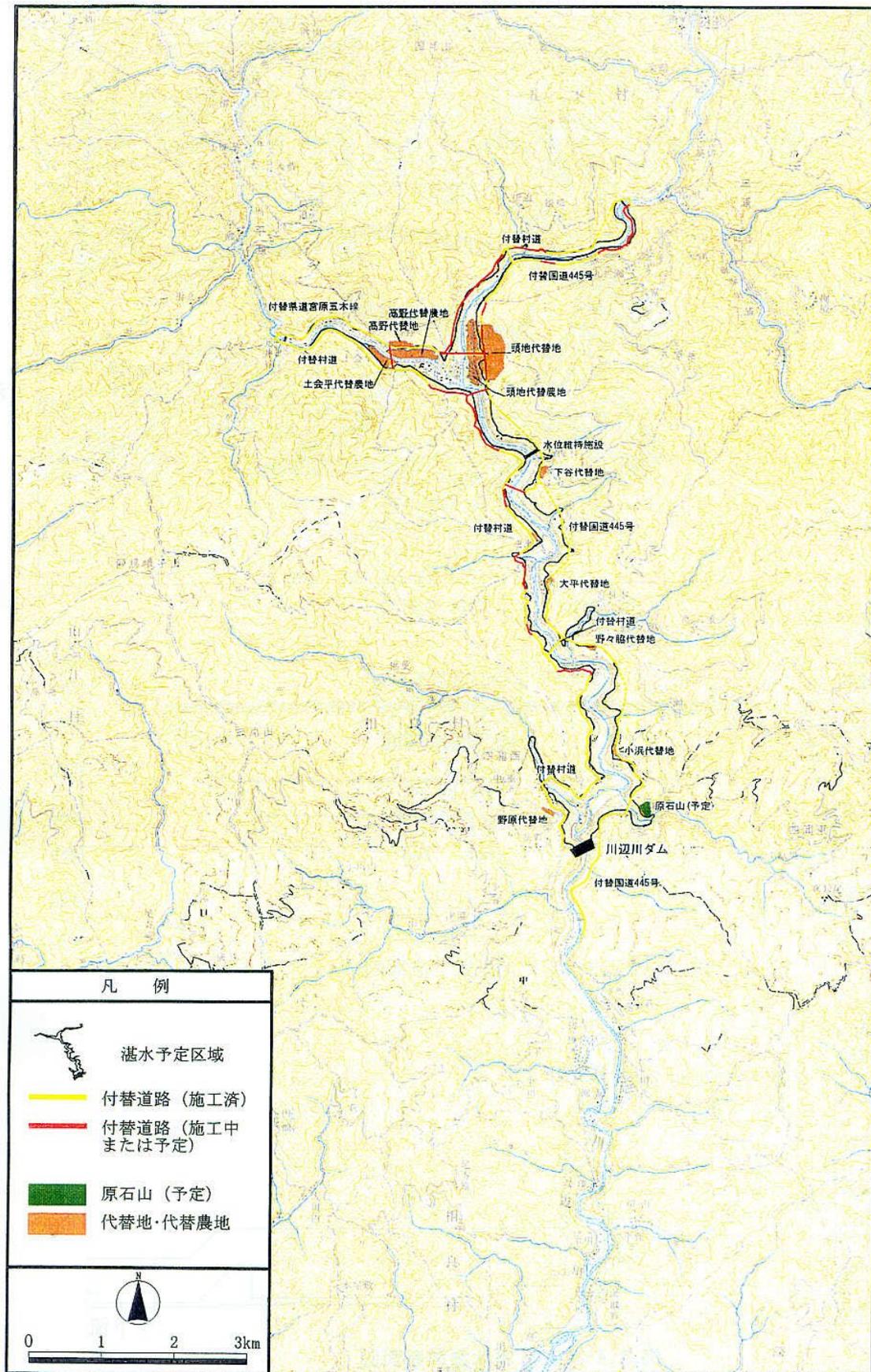


図 1.4-3 ダム堤体標準断面図



注) 付替道路のルートなどについては今後計画が変更されることもある。

代替地は図に示す他に、柳瀬代替地が完成している。

図 1.4-4 事業計画図